

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-120-9911

7754グループ ユーザーズマニュアル 追加情報 (REV.A)

1997年12月発行の『7754グループ ユーザーズマニュアル』(印刷番号:HU-082A)に、一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。本マニュアルをご使用の際は、留意のほど宜しくお願いいたします。

なお、機種展開、電気的特性及びツール製品などに関しては、マニュアル発行後に変更があった場合も、追加情報には記載しません。これらは、以下に示す資料の最新版を参照してください。

マイコン機種展開

三菱マイクロコンピュータ 総合カタログ (製本版または三菱マイコン技術情報ホームページ)

電気的特性

データシート (製本版または三菱マイコン技術情報ホームページ)

開発サポートツール

ツール総合カタログ (製本版)

データシート (三菱ツールホームページ)

三菱マイクロコンピュータ開発サポートツール アクセサリガイド

(製本版または三菱ツールホームページ)

ホームページアドレス

三菱マイコン技術情報 <http://www.infocom.mesc.co.jp>

三菱ツール <http://www.tool-spt.mesc.co.jp>

添付：『7754グループ ユーザーズマニュアル』正誤表(REV.A) 10枚

7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.1

訂正箇所	誤	正																				
1-4ページ 図1.2.2 82ピン	P84/CTS1/RTS/DA1/INT4	P84/CTS1/RTS/DA1/INT4																				
2-24ページ 図2.4.3 4-3ページ 図4.1.3 15-9ページ 図15.2.2 19-41ページ (6C16番地)	注2. ビット1、2は6C16番地への2回連続書き込みで、設定が有効になります。	注2. ビット1、2は6C16番地への2回連続書き込みで、設定が有効になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">2回連続書き込みの間で割り込みが発生すると、書き込みが無効になります。このようなタイミングで割り込みが発生する可能性のある場合は、書き込みの後、このビットの内容を読み出して、正しく書き込まれたかどうか確認してください。</div>																				
2-32ページ 表2.6.1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">レジスタ/ビット名</th> <th style="width: 15%;">番地</th> <th style="width: 65%;">参照先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パルス出力 データレジスタ1</td> <td>1C16番地</td> <td>第10章 パルス出力 ポートモード</td> </tr> <tr> <td>パルス出力 データレジスタ0</td> <td>1D16番地</td> <td>第10章 パルス出力 ポートモード</td> </tr> </tbody> </table>	レジスタ/ビット名	番地	参照先	パルス出力 データレジスタ1	1C16番地	第10章 パルス出力 ポートモード	パルス出力 データレジスタ0	1D16番地	第10章 パルス出力 ポートモード	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">レジスタ/ビット名</th> <th style="width: 15%;">番地</th> <th style="width: 65%;">参照先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パルス出力 データレジスタ1</td> <td>1C16番地</td> <td>第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div></td> </tr> <tr> <td>パルス出力 データレジスタ0</td> <td>1D16番地</td> <td>第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div></td> </tr> </tbody> </table>	レジスタ/ビット名	番地	参照先	パルス出力 データレジスタ1	1C16番地	第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div>	パルス出力 データレジスタ0	1D16番地	第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div>		
レジスタ/ビット名	番地	参照先																				
パルス出力 データレジスタ1	1C16番地	第10章 パルス出力 ポートモード																				
パルス出力 データレジスタ0	1D16番地	第10章 パルス出力 ポートモード																				
レジスタ/ビット名	番地	参照先																				
パルス出力 データレジスタ1	1C16番地	第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div>																				
パルス出力 データレジスタ0	1D16番地	第10章 パルス出力 ポートモード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第11章 三相波形 モード</div>																				
3-5ページ 図3.1.3	* _____ ときの状態を示します。	* : 拡張機能選択ビット(6D16番地のビット5)の影響を受けるレジスタ。拡張機能を選択したときの状態を示します。																				
4-2ページ 4.1.1 3行目	<u>発振子を使用する場合は、源クロック選択ビット(5F16番地のビット6)を“0”にしてください(図4.2.2参照)。</u>	<u>16MHz < f(XIN)で発振子を使用する場合は、源クロック選択ビット(5F16番地のビット6)を“0”にしてください。f(XIN) 16MHzで発振子を使用する場合も、源クロック選択ビットを“0”にすることを推奨します(図4.2.2参照)。</u>																				
4-7ページ 表4.2.1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">外部クロック 入力周波数f(XIN)</th> <th colspan="2" style="width: 60%;">高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">源クロック 選択ビット</th> <th style="width: 20%;">周辺機能用 源クロック 選択ビット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12.5MHz < f(XIN) 20MHz</td> <td>“0”</td> <td>“0”又は“1” いずれでもよい</td> </tr> <tr> <td>“1”(注)</td> <td>“0”に固定して ください</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">注. XIN端子とXOUT端子の間に発振子を接続する場合は、 12.5MHz < f(XIN) 16MHzのとき“1”が 選択できます。 16MHz < f(XIN) 20MHzのときは“0”に 固定してください。 CPU走行速度...</div>	外部クロック 入力周波数f(XIN)	高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)		源クロック 選択ビット	周辺機能用 源クロック 選択ビット	12.5MHz < f(XIN) 20MHz	“0”	“0”又は“1” いずれでもよい	“1”(注)	“0”に固定して ください	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">外部クロック 入力周波数f(XIN)</th> <th colspan="2" style="width: 60%;">高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">源クロック 選択ビット(注)</th> <th style="width: 20%;">周辺機能用 源クロック 選択ビット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12.5MHz < f(XIN) 20MHz</td> <td>“0”</td> <td>“0”又は“1” いずれでもよい</td> </tr> <tr> <td>“1”</td> <td>“0”に固定して ください</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">注. 16MHz < f(XIN)で発振子を使用する場合は、源 クロック選択ビット(5F16番地のビット6)を “0”にしてください。f(XIN) 16MHzで発振子 を使用する場合も、源クロック選択ビットを “0”にすることを推奨します。 CPU走行速度...</div>	外部クロック 入力周波数f(XIN)	高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)		源クロック 選択ビット(注)	周辺機能用 源クロック 選択ビット	12.5MHz < f(XIN) 20MHz	“0”	“0”又は“1” いずれでもよい	“1”	“0”に固定して ください
外部クロック 入力周波数f(XIN)	高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)																					
	源クロック 選択ビット	周辺機能用 源クロック 選択ビット																				
12.5MHz < f(XIN) 20MHz	“0”	“0”又は“1” いずれでもよい																				
	“1”(注)	“0”に固定して ください																				
外部クロック 入力周波数f(XIN)	高速走行選択時 (CPU走行速度選択ビット = “0”)																					
	源クロック 選択ビット(注)	周辺機能用 源クロック 選択ビット																				
12.5MHz < f(XIN) 20MHz	“0”	“0”又は“1” いずれでもよい																				
	“1”	“0”に固定して ください																				

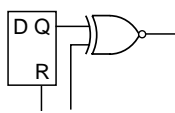
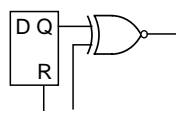
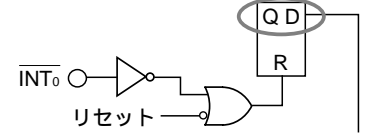
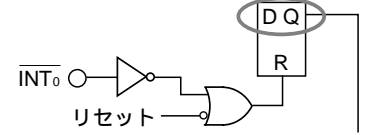
7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.2

訂正箇所	誤	正																								
4-12ページ 下から3行目	順位の高い順に受け付けられます。受け付ける必要のない割り込みについては、...	順位の高い順に受け付けられます(ただし、 <u>INT_i</u> 割り込みのレベルセンス使用時、割り込み要求は保持されないため、監視タイマの最上位ビットが“0”になった時点で、 <u>INT_i</u> 端子が無効レベルになっていると受け付けられません)。受け付ける必要のない割り込みについては、...																								
4-13ページ (2)5行目	<u>Pf₂</u> の7サイクル後、CPU、BIUの供給が開始されます。	<u>1</u> の8サイクル後、CPU、BIUの供給が開始されます。																								
4-17ページ 表4.4.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">状態 / 動作</th> </tr> <tr> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0</th> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイマA</td> <td rowspan="4">動作</td> <td rowspan="4">停止</td> </tr> <tr> <td>タイマB</td> </tr> <tr> <td>シリアルI/O</td> </tr> <tr> <td>A-D変換器</td> </tr> </tbody> </table>	項目	状態 / 動作		WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1	タイマA	動作	停止	タイマB	シリアルI/O	A-D変換器	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">状態 / 動作</th> </tr> <tr> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0</th> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイマA</td> <td rowspan="4">動作</td> <td rowspan="4">イベントカウンタ モードでだけ動作 できる</td> </tr> <tr> <td>タイマB</td> </tr> <tr> <td>シリアルI/O</td> <td rowspan="2">外部クロック選択 時だけ動作できる</td> </tr> <tr> <td>A-D変換器</td> <td>停止</td> </tr> </tbody> </table>	項目	状態 / 動作		WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1	タイマA	動作	イベントカウンタ モードでだけ動作 できる	タイマB	シリアルI/O	外部クロック選択 時だけ動作できる	A-D変換器	停止
項目	状態 / 動作																									
	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1																								
タイマA	動作	停止																								
タイマB																										
シリアルI/O																										
A-D変換器																										
項目	状態 / 動作																									
	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット*=1																								
タイマA	動作	イベントカウンタ モードでだけ動作 できる																								
タイマB																										
シリアルI/O			外部クロック選択 時だけ動作できる																							
A-D変換器				停止																						
4-18ページ 表4.4.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">割り込み</th> <th colspan="2">割り込み要求を発生する各機能の使用条件</th> </tr> <tr> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット=0</th> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット=1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-D変換割り込み</td> <td colspan="2">—————</td> </tr> </tbody> </table>	割り込み	割り込み要求を発生する各機能の使用条件		WIT時内部クロック 停止選択ビット=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット=1	A-D変換割り込み	—————		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">割り込み</th> <th colspan="2">割り込み要求を発生する各機能の使用条件</th> </tr> <tr> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット=0</th> <th>WIT時内部クロック 停止選択ビット=1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-D変換割り込み</td> <td>—————</td> <td>使用できない</td> </tr> </tbody> </table>	割り込み	割り込み要求を発生する各機能の使用条件		WIT時内部クロック 停止選択ビット=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット=1	A-D変換割り込み	—————	使用できない								
割り込み	割り込み要求を発生する各機能の使用条件																									
	WIT時内部クロック 停止選択ビット=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット=1																								
A-D変換割り込み	—————																									
割り込み	割り込み要求を発生する各機能の使用条件																									
	WIT時内部クロック 停止選択ビット=0	WIT時内部クロック 停止選択ビット=1																								
A-D変換割り込み	—————	使用できない																								
5-11ページ 表5.4.2 19-47ページ 表2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>端子名</th> <th>処理例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BHE、ALE、HLDA</td> <td>開放(注5)</td> </tr> <tr> <td>Xout(注6)</td> <td>開放</td> </tr> </tbody> </table> <p>注4 . CNVss端子にVssレベルを印加している場合、リセットからソフトウェアによってプロセッサモードを切り替えるまで(<u>1端子においては、端子の機能を切り替えるまで</u>) は、これらの端子は...</p>	端子名	処理例	BHE、ALE、HLDA	開放(注5)	Xout(注6)	開放	<table border="1"> <thead> <tr> <th>端子名</th> <th>処理例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BHE、ALE、HLDA</td> <td>開放(注4)</td> </tr> <tr> <td>Xout(注5)</td> <td>開放</td> </tr> </tbody> </table> <p>注4 . CNVss端子にVssレベルを印加している場合、リセットからソフトウェアによってプロセッサモードを切り替えるまでは、これらの端子は...</p>	端子名	処理例	BHE、ALE、HLDA	開放(注4)	Xout(注5)	開放												
端子名	処理例																									
BHE、ALE、HLDA	開放(注5)																									
Xout(注6)	開放																									
端子名	処理例																									
BHE、ALE、HLDA	開放(注4)																									
Xout(注5)	開放																									
5-12ページ 表5.4.3 19-48ページ 表3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>端子名</th> <th>処理例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BHE、ALE、HLDA、<u>1</u></td> <td>開放(注5)</td> </tr> <tr> <td>Xout(注6)</td> <td>開放</td> </tr> </tbody> </table>	端子名	処理例	BHE、ALE、HLDA、 <u>1</u>	開放(注5)	Xout(注6)	開放	<table border="1"> <thead> <tr> <th>端子名</th> <th>処理例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BHE、ALE、HLDA、<u>1</u></td> <td>開放(注4)</td> </tr> <tr> <td>Xout(注5)</td> <td>開放</td> </tr> </tbody> </table>	端子名	処理例	BHE、ALE、HLDA、 <u>1</u>	開放(注4)	Xout(注5)	開放												
端子名	処理例																									
BHE、ALE、HLDA、 <u>1</u>	開放(注5)																									
Xout(注6)	開放																									
端子名	処理例																									
BHE、ALE、HLDA、 <u>1</u>	開放(注4)																									
Xout(注5)	開放																									
6-23ページ 【割り込み使用上の注意】 2行目	...が変更されるまでに、 <u>2</u> の2~7サイクルの時間を要します。...	...が変更されるまでに、 <u>BIU</u> の2~7サイクルの時間を要します。...																								
6-23ページ 図6.10.6	注表6.11.1を参照してください。	注表6.10.2を参照してください。																								

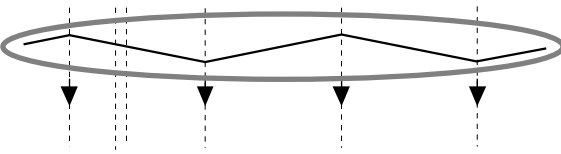
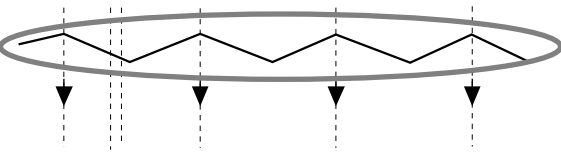
7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.3

訂正箇所	誤	正																								
6-23ページ 表6.10.2	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>割り込み優先レベルの変更に 必要な時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>の7サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>の4サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>の2サイクル</td> <td></td> </tr> </table>		割り込み優先レベルの変更に 必要な時間			の7サイクル			の4サイクル			の2サイクル		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>割り込み優先レベルの変更に 必要な時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BIUの7サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BIUの4サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>BIUの2サイクル</td> <td></td> </tr> </table>		割り込み優先レベルの変更に 必要な時間			BIUの7サイクル			BIUの4サイクル			BIUの2サイクル	
	割り込み優先レベルの変更に 必要な時間																									
	の7サイクル																									
	の4サイクル																									
	の2サイクル																									
	割り込み優先レベルの変更に 必要な時間																									
	BIUの7サイクル																									
	BIUの4サイクル																									
	BIUの2サイクル																									
8-40ページ 図8.6.1 中段 19-28ページ 上段	<p>《16ビットパルス幅変調器として動作しているとき》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~0</td> <td>0000₁₆ ~ FFFE₁₆を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	機能	15~0	0000 ₁₆ ~ FFFE ₁₆ を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)	<p>《16ビットパルス幅変調器として動作しているとき》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15~0</td> <td>0000₁₆ ~ FFFE₁₆を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	機能	15~0	0000 ₁₆ ~ FFFE ₁₆ を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)																
ビット	機能																									
15~0	0000 ₁₆ ~ FFFE ₁₆ を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)																									
ビット	機能																									
15~0	0000 ₁₆ ~ FFFE ₁₆ を設定可能 設定値を n とすると、TAiout 端子から 出力するPWMパルスの“H”レベル幅は $\frac{n}{Pfi}$ となる (PWMパルスの周期は $\frac{2^{16}-1}{Pfi}$)																									
8-44ページ 下から2行目	注2...TAiout端子は設定したPWMパルスの“H” レベル幅と同じ幅の“L”レベルを出力し、...	注2...TAiout端子は(1/fi) x (m+1) x (n+1)の期間 “L”レベルを出力し、...																								
8-46ページ 図8.6.7																										

7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.4

訂正箇所	誤	正																		
11-4ペ - ジ 図11.2.1	<p>(左上) 割り込み有効 出力極性選択ビット (1C₁₆番地のビット1)</p> 	<p>(左上) 割り込み有効 出力選択ビット (1C₁₆番地のビット1)</p> 																		
	<p>(右上) 波形出力制御ビット (1A₁₆番地のビット7)</p> 	<p>(右上) 波形出力制御ビット (1A₁₆番地のビット7)</p> 																		
11-5ペ - ジ 図11.2.2 19-11ページ 1A ₁₆ 番地	<p>注4. このレジスタへの書き込みは、タイマA0~A2及びB2のカウンタ停止中に行ってください。</p>	<p>注4. ビット0~6への書き込みは、タイマA0~A2及びB2のカウンタ停止中に行ってください。</p>																		
11-9ページ 図11.2.6 19-14ページ 上段	<p>パルス出力データレジスタ1【1C₁₆番地】</p> <table border="1" data-bbox="343 1657 869 2038"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)</td> <td>0: "H" 出力 1: "L" 出力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割り込み有効出力 極性選択ビット (三相モード1時)</td> <td>0: 三相出力極性設定 バッファの出力が "L" のとき割り込み 要求発生 1: 三相出力極性設定 バッファの出力が "H" のとき割り込み 要求発生</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	ビット名	機能	1	U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)	0: "H" 出力 1: "L" 出力		割り込み有効出力 極性選択ビット (三相モード1時)	0: 三相出力極性設定 バッファの出力が "L" のとき割り込み 要求発生 1: 三相出力極性設定 バッファの出力が "H" のとき割り込み 要求発生	<p>パルス出力データレジスタ1【1C₁₆番地】</p> <table border="1" data-bbox="917 1657 1444 2038"> <thead> <tr> <th>ビット</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)</td> <td>0: "H" 出力 1: "L" 出力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割り込み有効出力 選択ビット (三相モード1時)</td> <td>0: タイマB2アンダフロー の偶数回目に割り込み 要求発生 1: タイマB2アンダフロー の奇数回目に割り込み 要求発生</td> </tr> </tbody> </table>	ビット	ビット名	機能	1	U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)	0: "H" 出力 1: "L" 出力		割り込み有効出力 選択ビット (三相モード1時)	0: タイマB2アンダフロー の偶数回目に割り込み 要求発生 1: タイマB2アンダフロー の奇数回目に割り込み 要求発生
ビット	ビット名	機能																		
1	U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)	0: "H" 出力 1: "L" 出力																		
	割り込み有効出力 極性選択ビット (三相モード1時)	0: 三相出力極性設定 バッファの出力が "L" のとき割り込み 要求発生 1: 三相出力極性設定 バッファの出力が "H" のとき割り込み 要求発生																		
ビット	ビット名	機能																		
1	U相出力極性設定 バッファ (三相モード0時)	0: "H" 出力 1: "L" 出力																		
	割り込み有効出力 選択ビット (三相モード1時)	0: タイマB2アンダフロー の偶数回目に割り込み 要求発生 1: タイマB2アンダフロー の奇数回目に割り込み 要求発生																		

7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.5

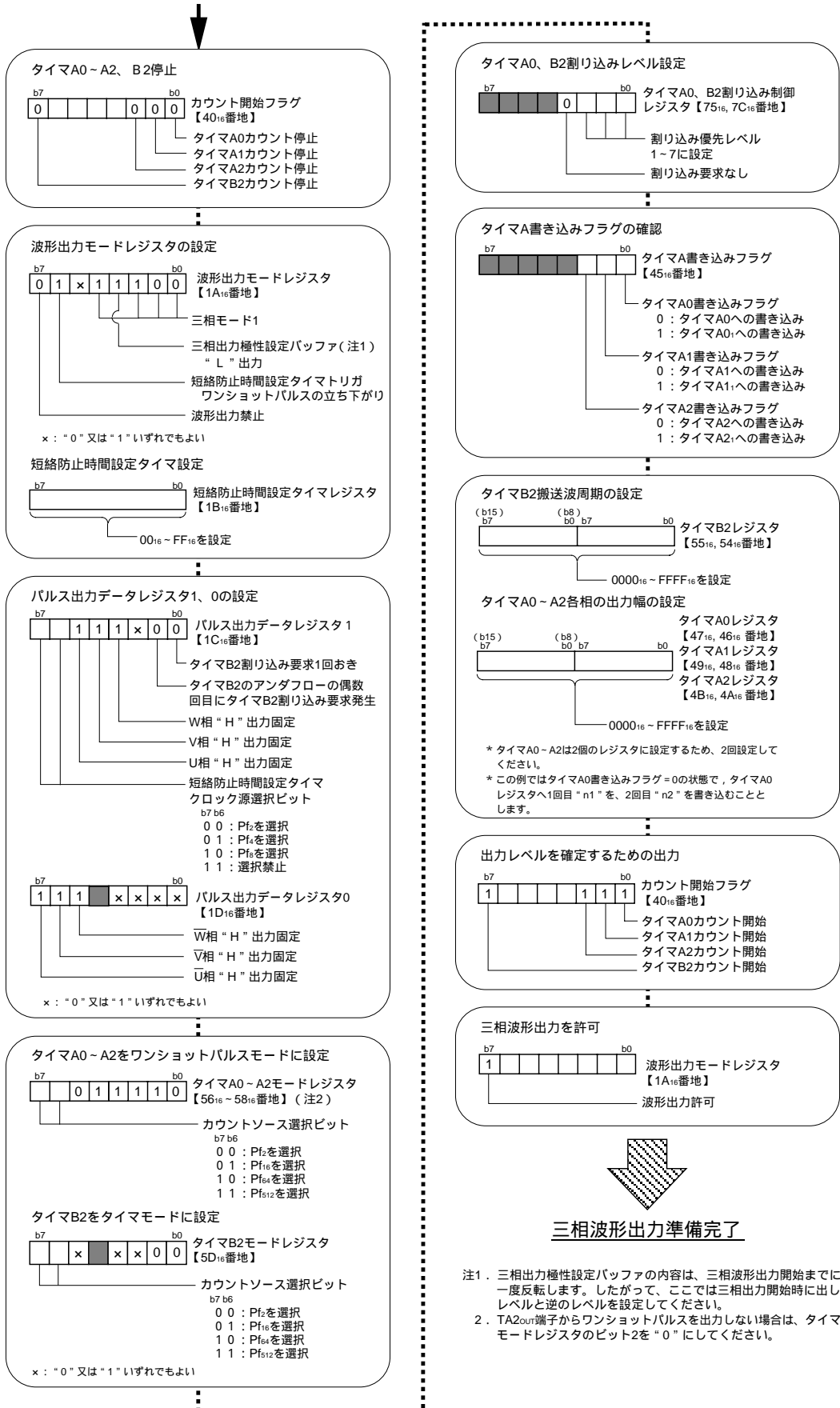
訂正箇所	誤	正
11-10ページ (2) 2~4行目	<p>三相モード1時： 割り込み有効出力極性選択ビット (ビット1)</p> <p>“0” にすると、<u>三相出力極性設定バッファの出力が“L”</u> のとき、<u>タイマB2割り込み要求が発生します。</u></p> <p>“1” にすると、<u>三相出力極性設定バッファの出力が“H”</u> のとき、<u>タイマB2割り込み要求が発生します。</u></p>	<p>三相モード1時： 割り込み有効出力選択ビット (ビット1)</p> <p>“0” にすると、<u>タイマB2アンダフローの偶数回目にタイマB2割り込み要求が発生します。</u></p> <p>“1” にすると、<u>タイマB2アンダフローの奇数回目にタイマB2割り込み要求が発生します。</u></p>
11-26ページ 11.4.1 3行目	<p>図11.4.1、及び11.4.2に三相モード1関連レジスタの初期設定例を、<u>図11.4.3に三相モード1時のデータ更新例を示します。</u></p>	<p>図11.4.1に三相モード1応用例(1)関連レジスタの初期設定例を、<u>図11.4.2に三相モード1応用例(2)タイマA0割り込みルーチンを、図11.4.3に三相モード1応用例(3)タイマB2割り込みルーチンを示します。</u></p>
11-27ページ 図11.4.1 11-28ページ 図11.4.2 11-29ページ 図11.4.3		<p>図タイトル、図を (6 / 1 0) (7 / 1 0) と差し替え</p> <p>(テクニカルニュースNo.7700-93-9902も参照ください)</p>
11-31ページ 図11.4.4	<p>搬送波</p>  <p>(下から2行目) タイマB2割り込み有効出力極性：<u>三相出力極性設定バッファの出力が“L”</u> の場合です。</p>	<p>搬送波</p>  <p>(下から2行目) タイマB2割り込み有効出力：<u>タイマB2アンダフローの偶数回目の場合です。</u></p>
12-26ページ 12.3.4 2行目 12-32ページ 12.3.6 2行目 12-43ページ 12.4.4 1行目	<p>...クロックの1サイクル後に...</p>	<p>...クロックの<u>最大</u>1サイクル後に...</p>

訂正箇所

正

11-27ページ
図11.4.1


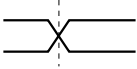

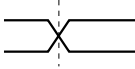
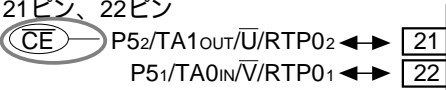
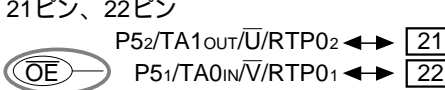
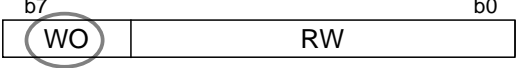

図11.4.1 三相モード1応用例(1) 関連レジスタの初期設定例

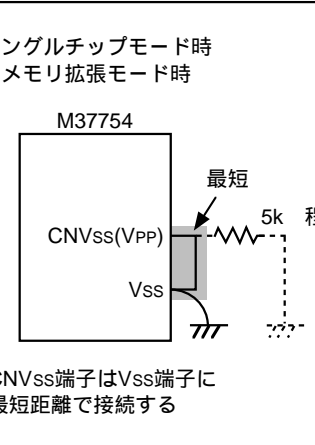
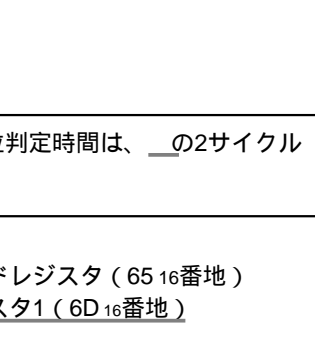


注1. 三相出力極性設定バッファの内容は、三相波形出力開始までに、一度反転します。したがって、ここでは三相出力開始時に出したいレベルと逆のレベルを設定してください。
 2. TA2_{out}端子からワンショットパルスを出さない場合は、タイマA2モードレジスタのビット2を"0"にしてください。

訂正箇所	正																																																																						
<p>11-28ページ 図11.4.2</p>	<p style="text-align: center;">タイマA0割り込み</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">タイマA0割り込み禁止</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">b0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table> <div style="text-align: right;"> <p>タイマA0割り込み制御レジスタ 【75₁₆番地】</p> <p>割り込み禁止</p> <p>割り込み要求なし</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">⋮</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">短絡防止時間待ち</p> </div> <p style="text-align: center;">⋮</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">“H”出力固定解除</p> <div style="display: flex; gap: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">b0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table> <div style="text-align: right;"> <p>パルス出力データレジスタ1 【1C₁₆番地】</p> <p>W相“H”出力固定解除</p> <p>V相“H”出力固定解除</p> <p>U相“H”出力固定解除</p> </div> </div> <div style="display: flex; gap: 20px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">b0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">x</td> </tr> </table> <div style="text-align: right;"> <p>パルス出力データレジスタ0 【1D₁₆番地】</p> <p>W̄相“H”出力固定解除</p> <p>V̄相“H”出力固定解除</p> <p>U相“H”出力固定解除</p> </div> </div> <p style="font-size: small; text-align: center;">x : “0”又は“1”いずれでもよい</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">三相波形出力開始</p> </div>	b7										b0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	b7											b0	0	0	0	0	x	0	0	0	0	0	0	0	b7											b0	0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x
b7										b0																																																													
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																													
b7											b0																																																												
0	0	0	0	x	0	0	0	0	0	0	0																																																												
b7											b0																																																												
0	0	0	x	x	x	x	x	x	x	x	x																																																												
<p>11-29ページ 図11.4.3</p>	<p style="text-align: center;">タイマB2割り込み</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">タイマA0～A2各相の出力幅の設定</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(b15)</td> <td style="text-align: center;">(b8)</td> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="text-align: center;">b0</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="text-align: center;">b0</td> <td style="text-align: center;">b7</td> <td style="text-align: center;">b0</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>タイマA0レジスタ 【47₁₆, 46₁₆番地】</p> <p>タイマA1レジスタ 【49₁₆, 48₁₆番地】</p> <p>タイマA2レジスタ 【4B₁₆, 4A₁₆番地】</p> <p>0000₁₆～FFFF₁₆を設定</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">*タイマA0～A2は2個のレジスタに設定するため、2回設定してください。</p> </div> <p style="text-align: center;">⋮</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">次のタイマA0～A2のデータ算出処理</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">割り込み処理終了</p>	(b15)	(b8)	b7	b0					b7	b0	b7	b0																																																										
(b15)	(b8)	b7	b0																																																																				
b7	b0	b7	b0																																																																				

7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.8

訂正箇所	誤	正
12-37ページ 下	$\left(\frac{1}{Bt} \times b + \frac{1}{F}\right) < \left(\frac{1}{Br} \times (b - 0.5) + \frac{1}{F}\right) \dots$	$\left(\frac{1}{Bt} \times (b - 1) + \frac{1}{F}\right) < \left(\frac{1}{Br} \times (b - 0.5) + \frac{1}{F}\right) \dots$
15-10ページ 【監視タイマ 使用上の注意】	2. STP命令(「4.3 ストップモード」参照)を実行すると、監視タイマは停止します。監視タイマをプログラムの暴走検知に使用するシステムでは、マスクオプションで“STP命令無効”を選択してください。	2. STP命令(「4.3 ストップモード」参照)を実行すると、監視タイマは停止します。 <u>プログラムが暴走し、偶然STP命令のコード(DB16)を実行してしまうと、監視タイマが停止しますので、監視タイマをプログラムの暴走検知に使用するシステムでは、マスクオプションで“STP命令無効”を選択することをお奨めします。</u>
16-11ページ 図16.1.6 (e) (f)	CS ₀ ~ CS ₄ (注)  A ₁ ~ A ₁₉ , A ₂₃ A ₂₀ ~ A ₂₂ (注) 	CS ₀ ~ CS ₄ (注2)  A ₁ ~ A ₁₉ , A ₂₃ A ₂₀ ~ A ₂₂ (注2) 
16-25ページ 下から3行目	外部データバス幅8ビット (BYTE = “L” レベル) 時、...	外部データバス幅8ビット (BYTE = “H” レベル) 時、...
18-4ページ 図18.1.3 19-40ページ (6C ₁₆ 番地)	注2. ビット1~4は6C ₁₆ 番地への2回連続書き込みで、設定が有効になります。	注2. ビット1~4は6C ₁₆ 番地への2回連続書き込みで、設定が有効になります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">2回連続書き込みの間で割り込みが発生すると、書き込みが無効になります。このようなタイミングで割り込みが発生する可能性のある場合は、書き込みの後、このビットの内容を読み出して、正しく書き込まれたかどうか確認してください。</div>
18-14ページ 図18.2.2	26ピン: P4 ₁ /RDY 28ピン: P4 ₃ 76ピン: P0 ₀ /A ₀ — A ₂ 78ピン: P0 ₂ /A ₂ — A ₀	26ピン: P4 ₃ 28ピン: P4 ₁ /RDY 76ピン: P0 ₂ /A ₂ — A ₂ 78ピン: P0 ₀ /A ₀ — A ₀
18-29ページ 図18.3.1	21ピン、22ピン 	21ピン、22ピン 
18-30ページ 図18.3.2	26ピン: P4 ₁ /RDY 28ピン: P4 ₃ 76ピン: P0 ₀ /A ₀ 78ピン: P0 ₂ /A ₂	26ピン: P4 ₃ 28ピン: P4 ₁ /RDY 76ピン: P0 ₂ /A ₂ 78ピン: P0 ₀ /A ₀
18-40ページ 図18.4.1 19-37ページ 下(65 ₁₆ 番地)	注. このレジスタへの書き込みにはLDM命令、STP命令を使用してください。...	注. このレジスタへの書き込みにはLDM命令、STA命令を使用してください。...
19-8ページ	6D ₁₆ 特殊機能選択レジスタ1 アクセス特性 b7 b0 	6D ₁₆ 特殊機能選択レジスタ1 アクセス特性 b7 b0 

訂正箇所	正	
19-74ページ (3)の次	<p>(4)フラッシュメモリ内蔵版のCNV_{SS}(V_{PP})端子の配線 シングルチップモード、又はメモリ拡張モード時 CNV_{SS}(V_{PP})端子は、マイクロコンピュータのV_{SS}端子に最短距離で接続する。 配線を短くできない場合は、5k 程度の抵抗を可能な限りCNV_{SS}(V_{PP})端子に近い位置に挿入し、これを介してCNV_{SS}(V_{PP})端子をV_{SS}に接続する。</p> <p>マイクロプロセッサモード時 CNV_{SS}(V_{PP})端子とV_{CC}端子の間の配線は短くする。</p> <p>【理由】 CNV_{SS}(V_{PP})端子は内蔵フラッシュメモリの電源入力端子で、内蔵フラッシュメモリへの書き込み及び消去時に電流が流れ込むように、この端子のインピーダンスは低くなっています(ノイズが侵入し易くなっています)。 CNV_{SS}(V_{PP})端子にノイズが侵入した場合、内蔵フラッシュメモリから異常な命令コード、又はデータが読み出され、プログラム暴走の原因となります。</p> <div data-bbox="379 768 1449 1211" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>シングルチップモード時 メモリ拡張モード時</p>  <p>最短 5k 程度</p> <p>CNVss端子はVss端子に最短距離で接続する</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>マイクロプロセッサモード時</p>  <p>最短</p> <p>CNVss端子はVcc端子に最短距離で接続する</p> </div> </div> </div> <p>図 フラッシュメモリ内蔵版のCNV_{SS}(V_{PP})端子の配線</p>	
訂正箇所	誤	正
19-80ページ 5. ポートの処理 7、8行目	ソフトウェア 入力モード時は、...確認する。 出力モード時は、...再設定を行う。 一定周期でポートPi方向レジスタの再設定を行う。	ソフトウェア 入力モード時は、...確認する。 出力モード時は、...再設定(注)を行う。 一定周期でポートPi方向レジスタの再設定(注)を行う。
19-82ページ Qの最終行	割り込み優先順位判定時間は、__の2サイクル	割り込み優先順位判定時間は、__BIUの2サイクル
19-88ページ Aの最終行	: フラッシュコマンドレジスタ(65 ₁₆ 番地) 特殊機能選択レジスタ1(6D ₁₆ 番地)	: フラッシュコマンドレジスタ(65 ₁₆ 番地) (1行削除)

7754グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-082A) 正誤表(REV.A) No.10

訂正箇所	誤		正			
19-100ページ 電気的特性	記号	項目	記号	項目		
	V _{T+} - V _{T-}	ヒステリシス RESET, <u>HOLD, RDY</u>	V _{T+} - V _{T-}	ヒステリシス RESET		
訂正箇所	誤					
19-110ページ スイッチング 特性	低速走行					
	記号	項目	2 アクセス 最小 最大	3 アクセス 最小 最大	4 アクセス 最小 最大	単位
	th(WR-A)	アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(RD-A)	アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	正					
	低速走行					
	記号	項目	2 アクセス 最小 最大	3 アクセス 最小 最大	4 アクセス 最小 最大	単位
	th(WR-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(WR-A)	A ₂₀ ~ A ₂₂ アドレスホールド時間	5	5	5	ns
	th(RD-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(RD-A)	A ₂₀ ~ A ₂₂ アドレスホールド時間	5	5	5	ns
訂正箇所	誤		正			
19-111ページ 19-120ページ バスタイミング データ算出式 19-127ページ <注意事項>	記号	項目	記号	項目		
	th(WR-A)	アドレスホールド時間	th(WR-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間		
	th(RD-A)	アドレスホールド時間	th(RD-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間		
訂正箇所	誤					
19-119ページ スイッチング 特性	高速走行					
	記号	項目	3 アクセス 最小 最大	4 アクセス 最小 最大	5 アクセス 最小 最大	単位
	th(WR-A)	アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(RD-A)	アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	正					
	高速走行					
	記号	項目	3 アクセス 最小 最大	4 アクセス 最小 最大	5 アクセス 最小 最大	単位
	th(WR-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(WR-A)	A ₂₀ ~ A ₂₂ アドレスホールド時間	5	5	5	ns
	th(RD-A)	A ₀ ~ A ₁₉ , A ₂₃ アドレスホールド時間 (注)	10	10	10	ns
	th(RD-A)	A ₂₀ ~ A ₂₂ アドレスホールド時間	5	5	5	ns